

# 栗山氏に安打 届けられず...

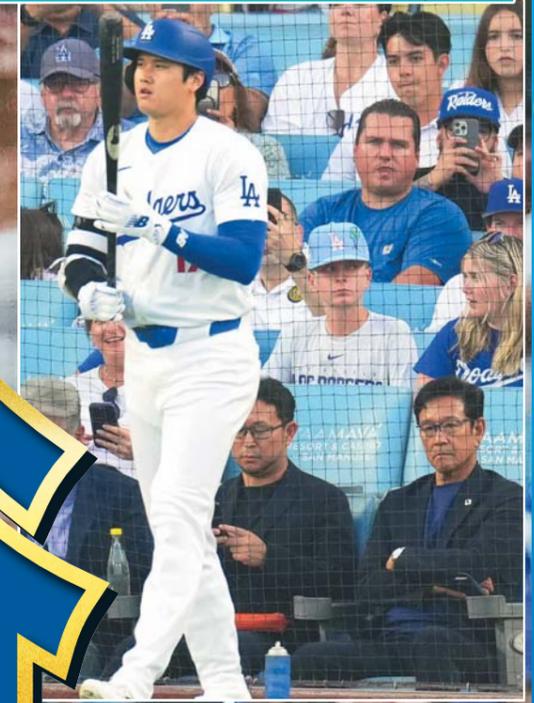
# 大谷

四死球	0	0	0	0	1	2	0	0	1	4
安打	0	0	1	2	2	3	2	1	3	14
フィリーズ	0	0	0	0	1	3	0	0	2	6
ドジャース	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
安打	1	1	0	0	1	1	1	1	1	7
四死球	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

ドジャース大谷翔平投手(30)は3試合ぶりに無安打に終わった。ポストシーズン前哨戦として注目された本拠地フィリーズ戦に「1番DH」で出場。3点を追う7回2死一、二塁の好機では、外角に逃げるスライダーにタイミングを外されて右飛に倒れるなど、4打数ノーヒットだった。日本ハムや23年WBC日本代表で監督を務めた恩師の栗山英樹氏(63)が観戦に訪れたが、快音を届けることはできなかった。チームも2-6で敗れ、連勝が3でストップした。

114	8月6日	打順	位置	打数	安打	本塁打	打点	盗塁	①	②	③	④
111	フィリーズ	1	指	4	0	0	0	0	ニゴ	左飛	二直	右飛

※□数字はドジャース試合数、●数字は大谷の出場試合数



ドジャース対フィリーズ 7回裏ドジャース2死一、二塁、右飛に倒れる大谷。投手ストライム 切り込み写真は栗山英樹氏(右)が見つめる中、打席へ向かうドジャース大谷(撮影・横山健太)